



安全データシート

Copyright, 2019, 3M Company

All right reserved.

本情報は、3Mの製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製ないしダウンロードする場合には、以下の条件をお守り下さい。（1）当社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。（2）本情報を営利目的で転売もしくは配布しないで下さい。

SDS番号	05-9327-7	版	7.02
発行日	2019/07/02	前発行日	2019/07/02

この安全データシートはJIS Z7253:2012に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称

EC-847

会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	テープ・接着剤製品技術部
電話番号	042-779-2188

2. 危険有害性の要約

GHS分類

引火性液体： 区分2

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性： 区分2A

皮膚感作性物質： 区分1

特定標的臓器毒性（単回ばく露）： 区分3

水生環境有害性（急性）： 区分2

水生環境有害性（長期間）： 区分2

GHSラベル要素

注意喚起語

危険

シンボル

炎 感嘆符 環境

ピクトグラム



危険有害性情報

H225	引火性の高い液体及び蒸気。
H319	強い眼刺激。
H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
H336	眠気又はめまいのおそれ。
H411	長期継続的影響により水生生物に毒性。

注意書き

安全対策

P210	熱／火花／裸火／高温物体のような着火源から遠ざけること。－禁煙。
P233	容器を密閉しておくこと。
P261	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
P271	野外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
P280B	保護手袋／保護眼鏡／保護面を着用すること。
P273	環境への放出を避けること。

応急措置

P305 + P351 + P338	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P333 + P313	皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
P370 + P378G	火災の場合：可燃性液体用の消火剤（粉末消火剤または炭酸ガスなど）を使用すること。

保管

P403 + P235	換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
P405	施錠して保管すること。

廃棄

P501	内容物／容器を国際，国，都道府県，市町村の規則に従って廃棄すること。
------	------------------------------------

その他の有害性

繰り返し曝露すると皮膚乾燥またはひび割れの発生のおそれ

3. 組成及び成分情報

成分	CAS番号	重量%
アセトン	67-64-1	60 - 70
アクリロニトリル-ブタジエンポリマー	9003-18-3	13 - 17
ロジン酸グリセロールエステル	8050-31-5	5 - 10

EC-847

フェノール・ホルムアルデヒド重合体 (1-1-ジメチルプロピルフェノール・ホルムアルデヒド重合体)	9003-35-4	5 - 10
サリチル酸	69-72-7	1 - 5
酸化亜鉛	1314-13-2	1 - 5
抗酸化剤	68921-45-9	< 1

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合

新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合

直ちに多量の水で15分以上洗浄する。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。症状が続く場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合

直ちに多量の水で洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。すすぎ続ける。直ちに医療機関を受診する。

飲み込んだ場合

口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

毒性学的影響についてはセクション11を参照。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤

火災の場合： 粉末消火剤または炭酸ガスなどの可燃性液体および可燃性固体用消火薬剤を使用すること。

特有の危険有害性

火災の熱で密封された容器内の圧力が増し、爆発するおそれがある。 本製品では予想されない。

消火作業者の保護

水は消火には効果的ではないが、火炎にさらされた容器を冷却して爆発を防ぐために使用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

区域より退避させること。 熱／火花／裸火／高温の物体などの着火源から遠ざけること。禁煙。 火花を発生させない工具を使用すること。 新鮮な空気での場所を換気する。 大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。 警告！モータ

一は着火源になる。漏洩個所に発生している引火性のガスや蒸気の着火源となり、燃焼・爆発を起こす可能性がある。物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。大量の場合には、下水設備や水施設に流入すのを防止する為に、排水溝にカバーし、土手をつくる。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏洩を止める。漏洩箇所を泡消火薬剤で覆う。適切な水成膜泡消火薬剤（AFFF）を推奨する。ベントナイト、パーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。出来る限り多くの漏洩物を防爆仕様の道具を使って回収する。金属製の容器に収納する。有資格者・専門家が選択した適切な溶剤を使用して残留物を清掃する。新鮮な空気に換気する。溶剤のラベルとSDSを参照し、安全な取り扱い方法に従う。容器を密封する。回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

工業用又は業務用。消費者用用途への販売、使用禁止。安全上の注意事項をすべて読んで、理解するまで取り扱わないこと。熱／火花／裸火／高温の物体などの着火源から遠ざけること。禁煙。火花を発生させない工具を使用すること。静電気放電に対する予防措置を講ずること。粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレアの吸入を避けること。眼、皮膚、衣類につけないこと。この製品を使用する時には、飲食又は喫煙をしないこと。取扱後は手指をよく洗うこと。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。環境への放出を避けること。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。酸化剤との接触を避ける（塩素、クロム酸等）。静電気帯電防止靴あるいは適切にアースした靴を着用する。指定された個人保護具を使用する。着火の危険を最小限にするために、この製品を使用する作業のために適切な電気的分類を決定し、引火性気体の蓄積を避けるために、特定の局所排気装置を選定してください。輸送中に静電気蓄積の可能性がある場合、容器を接地し、アースを取ること。

保管

換気の良い場所で保管する。涼しいところに置くこと。容器をしっかりと密閉しておくこと。酸から離して保管する。酸化剤から離して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度

セクション3に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
酸化亜鉛	1314-13-2	ACGIH	TWA（呼吸性分画）：2 mg/m ³ 、STEL（呼吸性分画）：10mg/m ³	
酸化亜鉛	1314-13-2	JSOH OELs	TWA（呼吸性ダストとして）（8時間）：1 mg/m ³ 、TWA（総ダストとして）（8時	

			間) : 4mg/m ³ 、限界値は確立されていない。	
アセトン	67-64-1	ACGIH	TWA:250 ppm;STEL:500 ppm	
アセトン	67-64-1	ISHL	TLV (8時間) : 500 ppm	
アセトン	67-64-1	JSOH OELs	TWA (8時間) : 470 mg/m ³ (200 ppm)	

ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA : American Industrial Hygiene Association

ISHL : 労働安全衛生法作業環境評価基準

JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度

TWA : 時間加重平均値

STEL : 短時間ばく露限界値

CEIL : 天井値

ばく露防止策

設備対策

空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フェーム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。 防爆換気装置を使用する。

保護具

眼の保護具

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨します。

間接式換気ゴーグル

皮膚及び身体の保護具

ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。 注：保護性を高めるために樹脂ラミネートされた手袋にニトリルゴム製の手袋を重ねてもよい。

推奨される手袋の材質： ブチルゴム

樹脂ラミネート。

スプレーや、ハネの多い作業など、ばく露の可能性が高い場合には、つなぎ服などの保護衣を使用する。 ばく露評価に基づき、適切な保護具を着用する。保護衣の材質として次のものを推奨する。 ブチルゴム製エプロン ポリマーラミネート製エプロン

呼吸用保護具

ばく露状況評価で吸入保護具が必要と判断された場合には、吸入防止手順に従って、以下のものから呼吸保護具を選択する。

半面形あるいは全面形の有機ガス用ろ過式マスク。

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観

液体

物理的状态:	粘調
形状、色、臭い	シロップ状。茶色。
臭いの閾値	データはない。
pH	データはない。
融点・凝固点	データはない。
沸点、初留点及び沸騰範囲	55.6 °C
引火点	-19 °C
蒸発速度	1.9 [参照基準:酢酸ブチル=1]
引火性(固体、ガス)	適用しない。
燃焼点(下限)	2.6 %
燃焼点(上限)	12.8 %
蒸気圧	23,998 Pa
蒸気密度	2 [参照基準:空気=1]
密度	データはない。
比重	0.91 [参照基準:水=1]
溶解度	微量 (<10%)
溶解度(水以外)	データはない。
n-オクタノール/水分配係数	データはない。
発火点	データはない。
分解温度	データはない。
粘度	3,000 mPa-s
揮発性有機化合物	データはない。
揮発分	64 %
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 (JIS-GHSの要求項目ではない)	データはない。

10. 安定性及び反応性

反応性

この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

化学的安定性

安定。

危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件

未確定

混触危険物質

強酸化性物質

危険有害な分解物

物質

アルデヒド

炭化水素類

条件

特段の規定はない。

特段の規定はない。

一酸化炭素	特段の規定はない。
二酸化炭素	特段の規定はない。
シアン化水素	特段の規定はない。
ケトン類	特段の規定はない。
窒素酸化物	特段の規定はない。

11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

眼に入った場合

激しい眼への刺激：発赤、腫脹、痛み、催涙、角膜の曇り、視力障害などの症状。

皮膚に付着した場合

皮膚の脱脂：局所的な皮膚の発赤、かゆみ、乾燥、ヒビ割れなどの症状。皮膚過敏症のヒトにおける非光感作性アレルギー皮膚反応：発赤、腫脹、水疱形成、かゆみなどの症状。

吸入した場合

気道刺激：咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みなどの症状。その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

飲み込んだ場合

胃腸への刺激：腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

その他健康影響情報

特定標的臓器毒性、単回ばく露

中枢神経機能の抑制：頭痛、目眩感、眠気、協調障害、吐き気、反応時間遅延、言語障害、目眩及び意識喪失などの症状。

生殖毒性

出生異常ないし他の生殖障害性のある化学物質を、単体または混合物として含有する。

毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するのに十分なデータが無い場合になります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
----	----	-----	---------

製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
アセトン	皮膚	ウサギ	LD50 > 15,688 mg/kg
アセトン	吸入-蒸気 (4時間)	ラット	LC50 76 mg/l
アセトン	経口摂取	ラット	LD50 5,800 mg/kg
アクリロニトリル-ブタジエンポリマー	皮膚	ウサギ	LD50 > 15,000 mg/kg
アクリロニトリル-ブタジエンポリマー	経口摂取	ラット	LD50 > 30,000 mg/kg
ロジン酸グリセロールエステル	皮膚	ウサギ	LD50 > 5,000 mg/kg
ロジン酸グリセロールエステル	経口摂取	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
フェノール・ホルムアルデヒド重合体 (1-1-ジメチルプロピルフェノール・ホルムアルデヒド重合体)	皮膚	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
フェノール・ホルムアルデヒド重合体 (1-1-ジメチルプロピルフェノール・ホルムアルデヒド重合体)	経口摂取	ラット	LD50 > 2,900 mg/kg
サリチル酸	皮膚	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
サリチル酸	経口摂取	ラット	LD50 891 mg/kg
酸化亜鉛	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
酸化亜鉛	吸入-粉塵/ ミスト (4時間)	ラット	LC50 > 5.7 mg/l
酸化亜鉛	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
アセトン	マウス	わずかな刺激
アクリロニトリル-ブタジエンポリマー	専門家による判断	刺激性なし
ロジン酸グリセロールエステル	ウサギ	わずかな刺激
フェノール・ホルムアルデヒド重合体 (1-1-ジメチルプロピルフェノール・ホルムアルデヒド重合体)	ヒト及び動物	軽度の刺激
サリチル酸	ウサギ	刺激性なし
酸化亜鉛	ヒト及び動物	刺激性なし

眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
アセトン	ウサギ	激しい刺激
アクリロニトリル-ブタジエンポリマー	専門家による判断	刺激性なし
ロジン酸グリセロールエステル	ウサギ	軽度の刺激
フェノール・ホルムアルデヒド重合体 (1-1-ジメチルプロピルフェノール・ホルムアルデヒド重合体)	ヒト及び動物	中程度の刺激
サリチル酸	ウサギ	腐食性
酸化亜鉛	ウサギ	軽度の刺激

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
ロジン酸グリセロールエステル	モルモット	区分されない。
フェノール・ホルムアルデヒド重合体 (1-1-ジメチルプロピルフェノール・ホルムアルデヒド重合体)	ヒト及び動物	感作性あり
サリチル酸	マウス	区分されない。
酸化亜鉛	モルモット	区分されない。

	ト	
--	---	--

光感作性

名称	生物種	値又は判定結果
サリチル酸	マウス	感作性なし

呼吸器感作性

名称	生物種	値又は判定結果
フェノール・ホルムアルデヒド重合物（1-1-ジメチルプロピルフェノール・ホルムアルデヒド重合物）	ヒト	区分されない。

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
アセトン	In vivo	変異原性なし
アセトン	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
ロジン酸グリセロールエステル	In vitro	変異原性なし
サリチル酸	In vitro	変異原性なし
サリチル酸	In vivo	変異原性なし
酸化亜鉛	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
酸化亜鉛	In vivo	陽性データはあるが、分類には不十分。

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
アセトン	特段の規定はない。	多種類の動物種	発がん性なし

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
アセトン	経口摂取	雄について生殖毒性は区分されない	ラット	NOAEL 1,700 mg/kg/day	13 週
アセトン	吸入した場合	発生毒性は区分されない	ラット	NOAEL 5.2 mg/l	器官発生期
サリチル酸	経口摂取	発生機能に有毒	ラット	NOAEL 75 mg/kg/day	器官発生期
酸化亜鉛	経口摂取	生殖・発生毒性の分類外	多種類の動物種	NOAEL 125 mg/kg/day	交配前および妊娠中。

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
アセトン	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト	NOAEL 非該当	
アセトン	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	NOAEL 非該当	
アセトン	吸入した場合	免疫システム	区分されない。	ヒト	NOAEL 1.19 mg/l	6 時間
アセトン	吸入した場合	肝臓	区分されない。	モルモット	NOAEL 非該当	

アセトン	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト	NOAEL 非該当	中毒ないし乱用時
フェノール・ホルムアルデヒド重合体(1-1-ジメチルプロピルフェノール・ホルムアルデヒド重合体)	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト及び動物	NOAEL 非該当	

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
アセトン	皮膚	眼	区分されない。	モルモット	NOAEL 非該当	3 週
アセトン	吸入した場合	造血器系	区分されない。	ヒト	NOAEL 3 mg/l	6 週
アセトン	吸入した場合	免疫システム	区分されない。	ヒト	NOAEL 1.19 mg/l	6 日
アセトン	吸入した場合	腎臓および膀胱	区分されない。	モルモット	NOAEL 119 mg/l	非該当
アセトン	吸入した場合	心臓 肝臓	区分されない。	ラット	NOAEL 45 mg/l	8 週
アセトン	経口摂取	腎臓および膀胱	区分されない。	ラット	NOAEL 900 mg/kg/day	13 週
アセトン	経口摂取	心臓	区分されない。	ラット	NOAEL 2,500 mg/kg/day	13 週
アセトン	経口摂取	造血器系	区分されない。	ラット	NOAEL 200 mg/kg/day	13 週
アセトン	経口摂取	肝臓	区分されない。	マウス	NOAEL 3,896 mg/kg/day	14 日
アセトン	経口摂取	眼	区分されない。	ラット	NOAEL 3,400 mg/kg/day	13 週
アセトン	経口摂取	呼吸器系	区分されない。	ラット	NOAEL 2,500 mg/kg/day	13 週
アセトン	経口摂取	筋肉	区分されない。	ラット	NOAEL 2,500 mg/kg	13 週
アセトン	経口摂取	皮膚 骨、歯、爪及び/又は毛髪	区分されない。	マウス	NOAEL 11,298 mg/kg/day	13 週
ロジン酸グリセロールエステル	経口摂取	肝臓 心臓 皮膚 内分泌系 骨、歯、爪及び/又は毛髪 血液 骨髄 造血器系 免疫システム 筋肉 神経系 眼 腎臓および膀胱 呼吸器系	区分されない。	ラット	NOAEL 5,000 mg/kg/day	90 日
フェノール・ホルムアルデヒド重合体(1-1-ジメチルプロピルフェノール・ホルムアルデヒド重合体)	吸入した場合	呼吸器系	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
サリチル酸	経口摂取	肝臓	区分されない。	ラット	NOAEL 500 mg/kg/day	3 日
酸化亜鉛	経口摂取	神経系	区分されない。	ラット	NOAEL 600 mg/kg/day	10 日
酸化亜鉛	経口摂取	内分泌系 造血器系 腎臓および膀胱	区分されない。	その他	NOAEL 500 mg/kg/day	6 月

吸引力呼吸器有害性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無い、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの1ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生毒性（急性）

GHS水生環境有害性（急性）区分2：水生生物に毒性。

水生毒性（慢性）

GHS水生環境有害性（長期間）区分2：長期継続的影響によって水生生物に毒性。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
アセトン	67-64-1	Algae Other	実験	96 時間	EC50	11,493 mg/l
アセトン	67-64-1	ニジマス	実験	96 時間	LC50	5,540 mg/l
アセトン	67-64-1	甲殻類	実験	24 時間	LC50	2,100 mg/l
アセトン	67-64-1	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	1,000 mg/l
アクリロニトリル-ブタジエンポリマー	9003-18-3		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			
ロジン酸グリセロールエステル	8050-31-5	緑藻類	推定値	72 時間	EC50	>100 mg/l
ロジン酸グリセロールエステル	8050-31-5	ミジンコ	推定値	48 時間	EC50	>100 mg/l
ロジン酸グリセロールエステル	8050-31-5	ファットヘッドミノウ（魚）	推定値	96 時間	致死レベル 50%	>100 mg/l
ロジン酸グリセロールエステル	8050-31-5	緑藻類	推定値	72 時間	NOEL	>100 mg/l
フェノール・ホルムアルデヒド重合体（1-1-ジメチルプロピルフェノール・ホルムアルデヒド重合体）	9003-35-4		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			
サリチル酸	69-72-7	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	870 mg/l
サリチル酸	69-72-7	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>100 mg/l
サリチル酸	69-72-7	メダカ	実験	96 時間	LC50	>100 mg/l
サリチル酸	69-72-7	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	10 mg/l
酸化亜鉛	1314-13-2	緑藻類	実験	72 時間	EC50	0.057 mg/l
酸化亜鉛	1314-13-2	甲殻類	実験	24 時間	LC50	0.24 mg/l
酸化亜鉛	1314-13-2	ニジマス	推定値	96 時間	LC50	0.21 mg/l
酸化亜鉛	1314-13-2	ニジマス	推定値	30 日	NOEC	0.049 mg/l

酸化亜鉛	1314-13-2	藻類または他の水生植物	推定値	96 時間	有効濃度 10%	0.026 mg/l
酸化亜鉛	1314-13-2	甲殻類	推定値	24 日	NOEC	0.007 mg/l
抗酸化剤	68921-45-9	アミ	実験	96 時間	LC50	2.3 mg/l
抗酸化剤	68921-45-9	緑藻類	推定値	96 時間	EC50	600 mg/l
抗酸化剤	68921-45-9	ファットヘッドミノウ (魚)	推定値	96 時間	LC50	>10,000 mg/l
抗酸化剤	68921-45-9	緑藻類	推定値	96 時間	NOEC	33 mg/l

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
アセトン	67-64-1	実験 光分解		光分解半減期 (空气中)	147 日 (t _{1/2})	別法
アセトン	67-64-1	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	78 重量%	OECD 301D - クローズドボトル法
アクリロニトリル-ブタジエンポリマー	9003-18-3	データ不足			N/A	
ロジン酸グリセロールエステル	8050-31-5	実験 生分解性	28 日	二酸化炭素の発生	0 重量%	OECD 301B - 修正シュツルム試験又は二酸化炭素
フェノール・ホルムアルデヒド重合体 (1-1-ジメチルプロピルフェノール・ホルムアルデヒド重合体)	9003-35-4	データ不足			N/A	
サリチル酸	69-72-7	実験 生分解性	14 日	生物学的酸素要求量	88.1 % BOD/ThBOD	OECD 301C-MITI (1)
酸化亜鉛	1314-13-2	データ不足			N/A	
抗酸化剤	68921-45-9	推定値 生分解性	28 日	DOC (溶存有機炭素) 残留量	8 重量%	OECD 301E-Modified OECD Score

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
アセトン	67-64-1	実験 生態濃縮		オクタノール/水分配係数	-0.24	別法
アクリロニトリル-ブタジエンポリマー	9003-18-3	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。
ロジン酸グリセロールエステル	8050-31-5	実験 生態濃縮		オクタノール/水分配係数	<1.5	別法
フェノール・ホルムアルデヒド重合体 (1-1-ジメチルプロピルフェノール・ホルムアルデヒド重合体)	9003-35-4	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。
サリチル酸	69-72-7	実験 生態濃縮		オクタノール/水分配係数	2.26	別法
酸化亜鉛	1314-13-2	実験 BCF-Carp	56 日	生物濃縮係数	≤217	OECD 305E- 生態濃縮 魚類
抗酸化剤	68921-45-9	推定値 生態濃縮			350	推定値: 生態濃縮係数

土壌中の移動性

データはない。

オゾン層への有害性

データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

国連番号及び品名： 1133 接着剤

輸送分類 (IMO)：3 引火性液体

輸送分類 (IATA)：3 引火性液体

容器等級：II

取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、船舶安全法などの法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

本SDSの適用法規の内容は、2018年7月1日施行の改正労働安全衛生法に基づいて記載されています。

主な法規制物質

成分	法規名	PRTR政令番号	毒物及び劇物取締法
アセトン	安衛法通知政令番号 17 (アセトン)	該当なし。	該当なし。
酸化亜鉛	188 (酸化亜鉛)	該当なし。	該当なし。

日本国内法規制 (主な適用法令)

労働安全衛生法：施行令別表第6の2 有機溶剤
 労働安全衛生法：施行令18条有害物質 (表示物質)
 消防法：第四類第一石油類
 船舶安全法、航空法：引火性液体類
 労働安全衛生法：施行令18条の2 名称等を通知すべき有害物
 麻薬及び向精神薬取締法 麻薬向精神薬原料

16. その他の情報

改訂情報

セクション9：分解温度 情報修正。
 セクション9：比重情報 情報修正。
 セクション9：水溶解性のテキスト 情報修正。
 セクション9：沸点/初留点/沸騰範囲 情報修正。
 セクション9：溶解性 (水以外) のテキスト 情報の削除。
 セクション9：溶解性 (水以外) 情報修正。
 セクション9：追加性状に関する記載 情報修正。
 セクション9：燃焼性 (固体、ガス) 情報 情報修正。
 セクション9：燃焼点 (上限) 情報 情報修正。

- セクション9：燃焼点（下限）情報 情報修正.
- セクション9：物理的形状の情報 情報修正.
- セクション9：融点/凝固点 情報修正.
- セクション9：蒸気圧 情報修正.
- セクション9：蒸気密度の値 情報修正.
- セクション9：蒸発速度情報 情報修正.
- セクション9：臭い、色、グレード情報 情報修正.
- セクション9：臭気限界 情報修正.
- セクション9：n-オクタノール/水分配係数の情報 情報修正.
- セクション9：pH情報 情報修正.
- セクション8：作業環境許容値 情報修正.
- セクション8：保護具 - 吸入 情報修正.
- セクション8：保護具 - 皮膚/体幹 情報の追加.
- セクション8：保護具 - 皮膚/手 情報修正.
- セクション8：保護具 - 眼 情報修正.
- セクション8：呼吸器保護 - 推奨する呼吸保護具の情報 情報修正.
- セクション8：呼吸器保護 - 推奨する呼吸用保護具のガイド 情報修正.
- セクション8：皮膚保護 - 保護衣情報 情報修正.
- セクション8：皮膚保護 - 推奨する手袋に関するテキスト 情報修正.
- セクション8：皮膚保護 - 推奨する手袋情報 情報修正.
- セクション8：眼および顔面保護 情報修正.
- セクション8：職業暴露情報 情報修正.
- セクション8：OEL登録機関の説明 情報修正.
- セクション8：STL記号 情報修正.
- セクション8：TWA記号 情報修正.
- セクション7：取り扱い時の安全注意喚起情報 情報修正.
- セクション7：貯蔵情報 情報修正.
- セクション6：事故漏出時の人体に対する注意事項 情報修正.
- セクション6：事故漏出時の措置 情報修正.
- セクション6：事故漏出時の清掃 情報修正.
- セクション6：封じ込め及び浄化の方法及び機材 情報修正.
- セクション5：火災時情報（消火剤） 情報修正.
- セクション5：火災時情報（消火法） 情報修正.
- セクション5：火災時情報（特殊有害性） 情報修正.
- セクション4：応急措置（急性・遅発性症状） 情報修正.
- セクション4：応急措置（皮膚の接触した場合）の情報 情報修正.
- セクション4：応急措置 - 医療機関への報告（REACH/GHS） 情報修正.
- セクション4：応急措置（吸入した場合）の情報 情報修正.
- セクション4：応急措置（飲み込んだ場合）の情報 情報修正.
- セクション4：応急措置（眼に入った場合）の情報 情報修正.
- セクション4：毒性学的影響のテキスト 情報修正.
- セクション3：「この製品は混合物です。」の標準フレーズ 情報の削除.
- セクション3：成分表 情報修正.
- セクション2：シンボル 情報修正.
- セクション2：ラベル要素の追加GHS情報 情報の追加.
- セクション2：健康有害性 情報修正.
- セクション2：注意喚起語 情報修正.
- セクション2：注意書き - 保管 情報の追加.
- セクション2：注意書き - 安全対策 情報修正.

セクション2：注意書き - 廃棄 情報修正.
セクション2：注意書き - 応急措置 情報修正.
セクション2：物理化学的危険性のステートメント 情報修正.
セクション2：環境影響ステートメント 情報修正.
セクション2：絵表示 情報修正.
セクション2：GHS分類 情報修正.
セクション1：ストック番号情報 情報の削除.
セクション1：所在地 情報修正.
セクション1：担当部門名 情報修正.
セクション1：製品名 情報修正.
セクション16：UK放棄声明 情報修正.
セクション16：Webアドレス 情報修正.
セクション15：法規名 - 表 情報修正.
セクション15：適用法規のステートメント 情報修正.
セクション14：国連番号の標準フレーズとテキスト 情報修正.
セクション14：輸送上の注意の標準フレーズ 情報修正.
セクション14：IATA分類の標準フレーズ 情報修正.
セクション14：IMO分類の見出し標準フレーズ 情報修正.
セクション13：廃棄物の処理ノート 情報修正.
セクション12：危険性の分類 情報修正.
セクション12：成分生態毒性情報 情報修正.
セクション12：材料の生態毒性に関するデータテキストなし 情報修正.
セクション12：残留性および分解性の情報 情報修正.
セクション12：水生生物への急性毒性情報 情報修正.
セクション12：水生生物への慢性毒性情報 情報修正.
セクション12：生態濃縮性情報 情報修正.
セクション11：健康影響情報（吸入した場合） 情報修正.
セクション11：健康影響情報（飲み込んだ場合） 情報修正.
セクション11：健康影響情報（皮膚） 情報修正.
セクション11：健康影響情報（眼） 情報修正.
セクション11：光感作性の表 情報修正.
セクション11：分類放棄声明 情報修正.
セクション11：単回ばく露時の標準フレーズ 情報修正.
セクション11：吸引ハザード 情報修正.
セクション11：呼吸器感作性の表 情報修正.
セクション11：急性毒性の表 情報修正.
セクション11：標的臓器 - 単回ばく露の表 情報修正.
セクション11：標的臓器 - 反復ばく露の表 情報修正.
セクション11：重篤な眼へのダメージ/刺激の表 情報修正.
セクション11：追加毒性情報のステートメント 情報修正.
セクション11：生殖毒性の情報 情報修正.
セクション11：生殖毒性の表 情報修正.
セクション11：生殖発生影響のテキスト 情報修正.
セクション11：生殖胞変異原性の表 情報修正.
セクション11：発がん性の表 情報修正.
セクション11：皮膚感作性の表 情報修正.
セクション11：皮膚腐食性/刺激性の表 情報修正.
セクション11：表テキストに非開示の成分 情報修正.
セクション10：反応性情報 情報修正.

セクション10：有害な分解物の表 情報修正.
セクション10：有害な重合反応の性状 情報修正.
セクション10：有害分解物 情報修正.
セクション10：避けるべき物質 情報修正.

免責事項：この安全データシート情報は、発行時において正確であると信じられるものです。当社は、法的な要求事項を除き、安全データシートの記載事項について、製品の使用に伴う損失や災害等を補償するものではありません、本安全データシートの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。したがって、製品が使用目的に合致しているかについては、お客様ご自身でご確認ください。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。